

第3回 各務原市ケアプラン向上研修会 アンケート結果

平成27年11月11日

参加者 119名

アンケート回収 105名（回答率 88.2%）

アンケート調査項目

【第3回ケアプラン向上研修会について】

- ・研修における理解度
- ・事例検討会での新たな気づき

【3回の研修会を通じて】

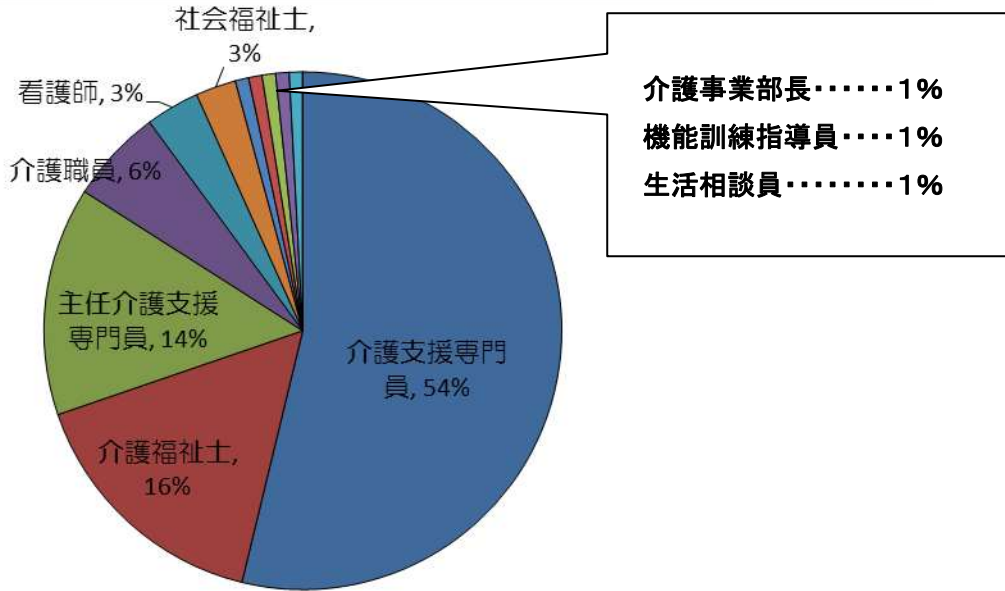
- ・研修会における満足度
- ・成長できた点について
- ・今後の研修会の要望等について
- ・参加したい研修テーマ

アンケート結果を受けた総括

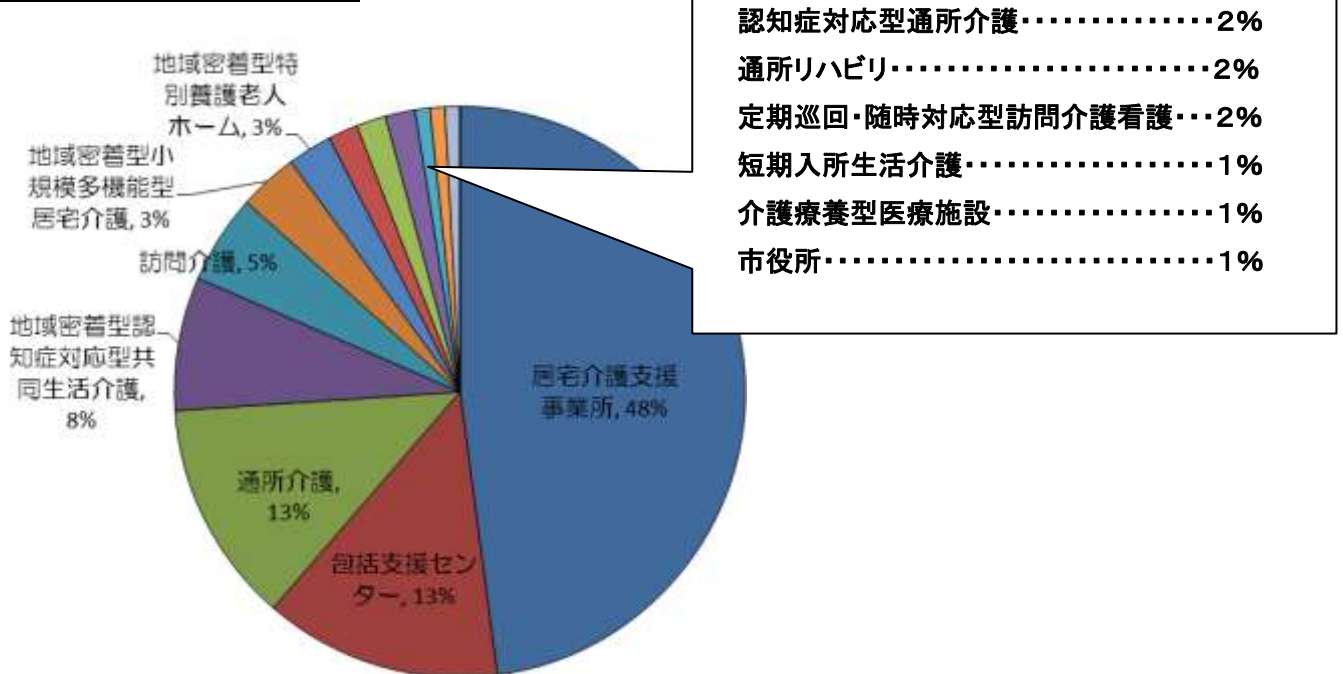
- ◎ 事例検討会をグループ単位で実践することで、自分とは異なる職種の方の意見から、気づくことが多くあった。そして、多職種連携の必要性を実感した。
- ◎ 3回シリーズを通して、考え方が広がり、視点が様々あることが分かったことで、スキルアップにもつながった。
- ◎ ケアマネの参加者が多数であったため、それ以外の職種の参加者が増加するとさらに充実したものになる。

【 第3回ケアプラン向上研修会について 】

職種別出席者割合



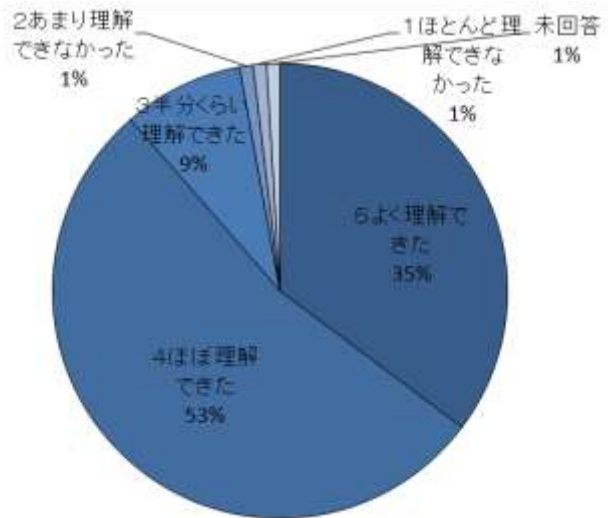
サービス種別出席者割合



職種で見ると、介護支援専門員の出席者が半数を超え、サービスごとで見ると居宅介護支援事業所の出席者が半数近い。⇒ もっと「多職種」が集まることのできる場になっていくとよい。

● 本日の演習（事例検討）の理解度について

5よく理解できた	37
4ほぼ理解できた	56
3半分くらい理解できた	9
2あまり理解できなかった	1
1ほとんど理解できなかった	1
未回答	1



(単位：人)

「ほぼ理解できた」「よく理解できた」という回答が、前回は82%であったのに対し、今回は88%であった。

● 本日の研修（事例検討）での新たな気づきについて

- ・ 情報提供することで自分なりに支援しているケースを改めて見直すきっかけとなった。
- ・ 信頼関係が築けているか再確認することができました。
- ・ 多職種はもちろん、ケアマネ同士の連携が必要だと思いました。
- ・ 多職種のかたの抱える悩みや問題に対して、自分ならどうしていけるかを専門職として見直していく必要があると感じた。
- ・ 一人一人意見を聞くことで介護の幅が広がることを体験できました。
- ・ 連携方法の見直し（①面談（カンファレンス）②電話③FAX④IT（iPad,LINE,メールなど）ITを利用することで、気楽に連携が図れるようになれば、より密な連携が取れ、問題点が明確にできるのではないだろうか。
- ・ 各事業所との情報共有が大切だと思いました。介護、看護は特に情報共有をしなければいけないと思いました。
- ・ アセスメントの奥深さを知り、とても大切なことで、幅広くしないといけないと思いました。
- ・ ご本人の意思は置いて、先手を打ったプランになることがある。まずはご本人ありきで本人が望んでいることを第一に考えてあげる必要がある。いろんな方向から探れば見つかる。
- ・ 良好な関係作りでよいプランができるんだと勉強になった。

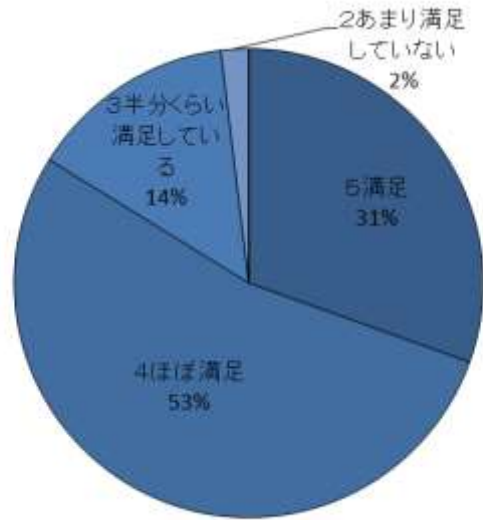
自分自身の業務についての見直し、自分とは違う職種・サービス事業所への新たな理解など、多職種で話し合うことでしか気づけないことがあった。

【 3回の研修会を通じて 】

● 満足度について

5満足	32
4ほぼ満足	56
3半分くらい満足している	15
2あまり満足していない	2
1ほとんど満足していない	0
未回答	0

(単位：人)



○ 満足度が1又は2の理由

- ・今回初めて参加したためまだ理解できていないため
- ・急な訪問が入り遅刻したので
- ・ケースをもっと深いとこまで話しあえば気づきにつながったかも

「満足している」という回答（満足度3，4，5）は98%。日常業務との兼ね合いにより3回連続で参加できなかったことに対して満足度を低くしたという意見がみられた。

● 研修会に参加して、「成長できた」と思うところについて

- ・人の意見に耳を傾けること（事業所と連携を密にする）
- ・自分の着眼点だけでなく、いろいろな見方ができ、考えることができた。
- ・誰もが、ケアプランの作成、実行を大変なことと思っていることを知ることができた。
- ・出会いがあり、施設内に閉じこもらず、外の方にも相談することにつなげたい。
- ・資源や考え方の幅が増えた。
- ・視野を広く、入り込みすぎない、他者の意見を聞くことで自分の能力の限界を知り、高めることができたと思う。
- ・事例をまとめること、読み解くことでケアマネージャーとしての経験値を上げることができた。
- ・自分の仕事に自信が持てたこと
- ・ケアマネさんばかりの中で、一応、自分の意見が言えて満足しています。

ケアマネージャーは「いろんな人の話を聞く」、サービス事業所は「情報を伝え、意見を言う」ことの大切さを実感し、研修会の中でそれができるようになったことで自分自身の成長を感じ、今後の業務にも生かしていきたいという意見があった。

● 今後も、多職種連携の研修会を行っていきませんが、ご意見はありますか？

- ・ スーパービジョンを取り入れた研修会によりもっと気づきを促せるのではないかと思います。
- ・ 各サービス事業所からの参加率がもう少し上がるよう
- ・ ケアマネのほか、通所、訪問、施設、福祉用具、市、医師などいろいろな立場の方が出席しやすいようにして、多数参加いただけるとよりよくなると思われる。
- ・ 年に数回でよいので行っていただきたい。 困難事例も多種多様化しているので、いろんな意見を聞きたい。

「また参加したい」という意見と、「ケアマネ以外の職種の参加者が増えるとよい」という意見が多かった。今後、より多くの職種の方が参加できるように検討していく。

● どんなテーマの研修なら参加したいですか？

- ・ 社会資源の実例
- ・ 困難ケースを事例として、事例検討、若しくは地域ケア会議の模擬をするなどがあるとよい。
- ・ 認認介護、老老介護など、独居の方など具体的に事例検討できれば
- ・ 高齢者、障害者に関わる制度について
- ・ 制度についてのことを、文章だけでなく分かりやすく理解できる研修
- ・ 法改正の方向性
- ・ パーキンソン病のかたの支援、看取り
- ・ 課題整理総括表の活用について、総合事業について
- ・ デイヤショート、施設系の方とも顔を合わせられるような研修をしてほしい。
- ・ 虐待対応についての研修
- ・ 現場の職員がたくさん参加できるように開催回数や日時を改善したらよいのでは。医師や看護師との研修会もあたらよいのでは。
- ・ 自分の弱いところとして、福祉の部分が難しいので、勉強できるといいです。(障害や成年後見など)